

令和3年度 高校生建築デザインコンクール

募 集 要 項

主 催
北 海 道
公益社団法人日本建築家協会北海道支部
一般社団法人北海道建築士事務所協会
一般社団法人北海道建築士会

このコンクールは、道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒の皆さんから、建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するもので、4団体の共催により実施しているものです。

今年度は、「身近なバス停留所の上屋」を設計課題とします。

バスは、子どもからお年寄りまでの多くの住民の方々に、地域の生活を支える足として重要な割合を担っています。特に高校生は通学など日常的に利用する機会が多く、身近な公共交通機関のひとつとなっています。

バスの利用者が乗降するバス停留所は、その多くに上屋が整備されていないものの、高校の最寄りのバス停留所や交通の結節点など多くの住民の利用が見込まれるバス停留所にあっては、風雪や日射といった自然環境から身を守るシェルターとしての機能や、街の良好な景観を形成する重要な要素として、さらには利用者の憩いや交流の場といった役割などが期待されています。

設計課題の「身近なバス停留所の上屋」は、高校が所在する自治体に実際に存するバス停留所を対象に整備するものです。

1 設計課題

「身近なバス停留所の上屋」

高校が所在する自治体に存するバス停留所（現状の上屋の有無は問わない）に整備する上屋を提案してください。

※今年度の設計課題については、整備の予定はなく想定での課題となります。

2 設計の条件

(1) 建設地

在籍している高校が所在する自治体に実際に存するバス停留所

※上屋を建設するバス停留所は各提出者が自由に設定してください。

(2) 設定敷地及び建設条件

①設定したバス停留所の選定理由や位置などについては3 (2) ②「設計主旨」に記載してください。

②車や歩道利用者の通行の大きな妨げにならぬよう留意して計画すること。

(3) 建築物の構造・規模

①構造は問いません。

②平屋建て

③延面積は5～15㎡としてください。

(4) 施設の利用計画

老若男女が利用することを踏まえ、バリアフリーに配慮してください。

3 提出図面

(1) 用紙

日本工業規格A2判(420mm×594mm)横置き一枚片面(裏は使用しないこと)に全ての要求図面等を描いてください。

※表面にすべての要求図面等を描き、裏面は使用しないこと

※図面等の貼り付けは問題ありませんが、指定用紙の範囲内に収めること

※CAD等を使用して大判プリンターで作品を印刷する場合、指定用紙のサイズになるようカットしてから提出すること。サイズが大きい場合、作品を折るなどの対応をさせていただきます。

(2) 要求図面等

①作品タイトル : 作品のタイトル(表題)を記入してください。

②設計主旨 : 設計主旨(選定理由等を含む)を用紙内に簡潔に記入してください。(300字以内)

③配置図 : 縮尺1/50～1/20
※建物配置、方位、敷地の寸法を必ず記入してください。

④平面図 : 縮尺1/50～1/20
※1階平面図は配置図と兼ねてもよい。

⑤断面図 : 縮尺1/50～1/20

⑥立面図 : 縮尺1/50～1/20(1面)※(例・南側立面図)

⑦スケッチ : 建物の全体を表現するスケッチ(透視図、模型写真等)を入れてください。[描き込み(色塗り可)、貼り付けを問いません。]

⑧面積表 : 延べ面積を図面内に記入してください。

※各図に記入する寸法の単位はmm(ミリメートル)とします。

(3) その他

①作品の表面には、学校名、学年、氏名、記号など応募者に関する事項は一切記入しないください。

②作品の裏面の右上に学校名、学年、氏名(グループで応募する場合は、“グループ応募”と記載し、代表者の氏名)を記入してください。

4 応募方法

(1) 応募資格

道内の建築系学科が設置されている高校に在籍する生徒で、個人又は2名グループとします。

(2) 応募方法

学校を通じて応募してください。(個人の応募は認められません。)

<応募者(生徒)>

「応募用紙」(別添1)に必要事項を記入のうえ、「作品」と一緒に学校の担当者に提出してください。

<学校担当者>

「令和3年度高校生建築デザインコンクール応募者名簿」(別添2)を作成のうえ、CD-Rに保存したExcelデータを「作品」及び提出のあった「応募用紙」と共に送付してください。

※Excelデータの送付は、下記事務局のメールアドレスへの送付に代えることができます。

(3) 応募締切日

応募締切日は、令和3年11月30日(火)まで(当日の消印有効)とします。

5 審査のポイント

審査の重点事項は下記のとおりです。

- ①高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか
- ②設計のコンセプトやデザインに魅力があるか
- ③立地条件を生かしているか
- ④ユニバーサルデザインや環境などに配慮されたデザインであるか

6 課題に関する質問

課題に関する質問は学校を通じて受け付けます。

①質問の受付期間は令和3年7月15日(木)まで(必着)

②質問は、各学校単位で取りまとめのうえ、書面にて郵送またはメールで事務局へ提出してください。

③質問の回答は、令和3年7月20日（火）までに全学校へ通知し、この募集要項の追加又は修正として扱います。

7 失格

応募作品が次に掲げるものに該当する場合は、原則として失格とします。

- ①応募作品が既に他の競技会などで発表されているもの
- ②他の作品からの全体または部分的なアイデアの盗用が判明したもの
- ③設計条件に違反した場合や応募用紙に虚偽事項が記載されていたもの
- ④その他、募集要項に重大な違反をしたもの

8 入選作品の選定

(1) 入選作品

①最優秀作品賞：1点

応募作品の中から特に優れた作品を選定します。

②優秀作品賞：3点

課題の趣旨を的確に捉え、創造性にあふれる作品を選定します。

③佳作：4点

アイデアなどが個性的なもの又は、工夫や努力が認められる作品を選定します。

④特別賞：2点

高校生らしい独創的なアイデアのもの又は、若々しくユニークで個性的と認められる作品を選定します。

(2) 入選発表

令和4年1月上旬（予定）に学校を通じて応募者全員にお知らせします。

(3) 賞状の贈呈

令和4年2月上旬に表彰式・伝達式を実施する予定です。

※社会情勢の状況により、中止させていただくことがあります。

9 選定委員

各入選作品の選定は、下記委員により実施します。

委員長 石丸 貴康（北海道建設部建築局建築整備課長）

赤坂 真一郎（公益社団法人日本建築家協会北海道支部 副支部長）

重綱 博美（一般社団法人北海道建築士事務所協会 副会長）

松本 純（一般社団法人北海道建築士会 まちづくり委員会 副委員長）

柴田 亨（北海道教育庁学校教育局高校教育課長）

10 著作権

作品に関する著作権は、北海道に帰属します。

1.1 その他

(1) 令和4年1月8日(土)、9日(日)の2日間、札幌駅前通地下歩行空間で実施される「建設産業ふれあい展」にて応募全作品を展示する予定です。

※社会情勢の状況により、中止となる場合があります。

※例年実施している道庁1階道政広報コーナー特設展示場での作品展については、1階ロビーの改修工事の関係により中止とさせていただきます。

(2) 応募作品は、令和4年2月下旬(予定)に学校を通じて返却する予定です。

1.2 事務局(質問及び作品の提出先)

質問及び作品の提出先は、以下のとおりとなります。

北海道建設部建築局計画管理課 担当：計画係

住 所：〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目

T E L：011-231-4111(内線29-869)

：011-204-5593(ダイヤルイン)

F A X：011-232-1092

E-mail：kensetsu.kenkei1@pref.hokkaido.lg.jp

1.3 別添資料

- ・ 応募用紙 【別添1】
- ・ 応募者名簿 【別添2】